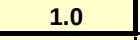
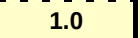
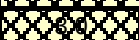
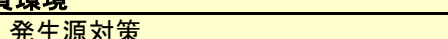
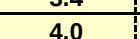
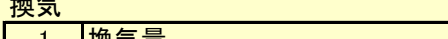
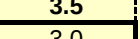
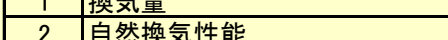
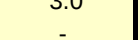
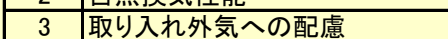
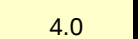
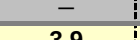


CASBEE-広島（2010年ver.1）
(仮称)フジグラン広島SC新築工事

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質							3.1		
Q1 室内環境				0.36			2.7		
1 音環境			2.4	0.15		-	2.4		
1.1 騒音			3.0	0.70		-			
1	暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
				-		-			
1.2 遮音			-	-		-			
1	開口部遮音性能		-	-		-			
2	界壁遮音性能		-	-		-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音			1.0	0.30		-			
2 温熱環境			1.6	0.35		-	1.6		
2.1 室温制御			2.2	0.50		-			
1	室温設定		3.0	0.44		-			
				-		-			
3	外皮性能		3.0	0.21		-			
4	ゾーン別制御性		1.0	0.35		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-			
2.3 空調方式			1.0	0.30		-			
3 光・視環境			4.0	0.24		-	4.0		
3.1 屋光利用			5.0	0.51		-			
1	屋光率		-	-		-			
2	方位別開口			-		-			
3	屋光利用設備	1階～6階までぬける吹抜けにトップライトを設置。	5.0	1.00		-			
3.2 グレア対策			-	-		-			
				-		-			
2	屋光制御		-	-		-			
3.3 照度			-	-		-			
1	照度		-	-		-			
				-		-			
3.4 照明制御			3.0	0.49		-			
4 空気質環境			3.4	0.25		-	3.4		
4.1 発生源対策			4.0	0.50		-			
1	化学汚染物質	使用建材は、ほぼ全てF☆☆☆☆を使用。	4.0	1.00		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
4.2 換気			3.5	0.30		-			
1	換気量		3.0	0.50		-			
2	自然換気性能		-	-		-			
3	取り入れ外気への配慮	給排気口のガラリーを6m以上隔離を確保。	4.0	0.50		-			
				-		-			
4.3 運用管理			2.0	0.20		-			
1	CO ₂ の監視		1.0	0.50		-			
2	喫煙の制御		3.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.3		
1 機能性			3.9	0.40		-	3.9		
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.48		-			
1	広さ・収納性		-	-		-			
2	高度情報通信設備対応		-	-		-			
3	バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たす。	4.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性			3.7	0.34		-			
1	広さ感・景観	売場の天井高3.8m	5.0	0.32		-			
2	リフレッシュスペース		1.0	0.32		-			
3	内装計画	評価する取り組みのNo.1～4に該当する。	5.0	0.36		-			
1.3 維持管理			4.0	0.17		-			
1	維持管理に配慮した設計	床材は防汚性が高いセラミックタイルを採用。	4.0	0.50		-			
2	維持管理用機能の確保	ゴミ置場のスペースを十分に確保している。	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性			2.6	0.31		-	2.6		
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-			
1	耐震性		3.0	0.80		-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			2.5	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2	外壁仕上り材の補修必要間隔	天井:EP・壁紙 壁:セラミックタイル・壁紙 床:セラミックタイル・ビニル床タイル	2.0	0.23		-			
3	主要内装仕上り材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23		-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			1.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29		-	3.4
	3.1 空間のゆとり			4.5	0.31		-	
	1	階高のゆとり	売場を有する階で最も低い4階においても4.86mの階高を確保。	5.0	0.58		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11	4.0	0.42		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			2.8	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		2.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース	主要機器を屋上駐車場に配置し、バックアップスペースを確保している。	4.0	0.22		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	3.3
	1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
	2 まちなみ・景観への配慮		都市的なファサードを持ち、まちに調和した外観デザイン	5.0	0.40		-	5.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
	LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
	1 建物の熱負荷抑制		省エネ法の基準に沿った適正な断熱材を計画	3.1	0.17		-	3.1
	2 自然エネルギー利用			3.0	0.24		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		設備システムエネルギー消費係数(CEC)が基準を超えて満足している。 ERR=38.8	5.0	0.35		-	5.0
	4 効率的運用			3.0	0.24		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
	1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
	1.1	節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
	2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63		-	3.5
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉スラグコンクリート:基礎	4.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト混合物・再生骨材の路盤材:外構舗装	4.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	壁面は軽鉄+仕上材(EP・壁紙)の構成。スポーツ施設の床にOA707-を採用。	4.0	0.24		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
	1	消火剤	駐車場部分に泡消火設備設置	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		2.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
	1 地球温暖化への配慮		PAL/CECが基準値よりも小さい	5.0	0.33		-	5.0
	2 地域環境への配慮			2.6	0.33		-	2.6
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	地下ピット内雨水貯留槽600m³設置	4.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	自動車・自転車の附置義務台数以上を確保し、荷捌、ゴミ搬出専用の駐車施設を確保	5.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
	3 周辺環境への配慮			2.3	0.33		-	2.3
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、日照障害の抑制			1.6	0.40		-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			2.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		1.0	0.30		-	